

定年を迎え始めた団塊の世代 現状とこれから

－「団塊世代の仕事と生活に関する意識調査（2007）」結果から－

改正高年齢者雇用安定法に基づき、2006年4月1日から、高年齢者について少なくとも年金支給開始年齢までの高年齢者雇用確保措置の導入が各企業に義務づけられた。この改正を背景に、65歳までの雇用確保については、継続雇用制度の導入等により大きく進展したところであるが、さらに希望者全員の継続雇用に向けた取組みが求められている。

また、団塊の世代が定年を迎え始め、5年後には65歳に到達することから、65歳以降の雇用・就業や社会活動の場の確保についても早急な取組みが必要となっている。

こうした中で、今後の労働力活用の鍵を握るとも考えられる団塊の世代は、定年後の仕事や生活についてどのように考えているか、また、既に定年を迎えた人は現在どのような仕事や生活実態にあり今後についてどのように考えているかを明らかにするため、今年8月に「団塊の世代の就業と生活に関する意識調査」を実施し、その結果を取りまとめたので公表する。

当機構では、当調査の結果等を基に、現在国と連携して進めている「70歳まで働ける企業」実現に向けた諸施策の検討・展開に取り組んでいくこととしている。

【調査概要】

①調査対象者

1947年（昭和22年）から1949年（昭和24年）生まれの男女で、民間調査機関にモニター登録している人

②調査実施時期

2007年8月10日～8月24日

③調査方法

インターネットによるアンケート調査

④回収数

回答者数 2073名

【回答者のプロフィール】

①生まれた年

1947年生まれ 28.2%、1948年生まれ 31.4%、1949年生まれ 40.4%

②年齢

57歳 13.4%、58歳 39.1%、59歳 29.7%、60歳 17.8%

③性別

男性 88.2%、女性 11.8%

【注】

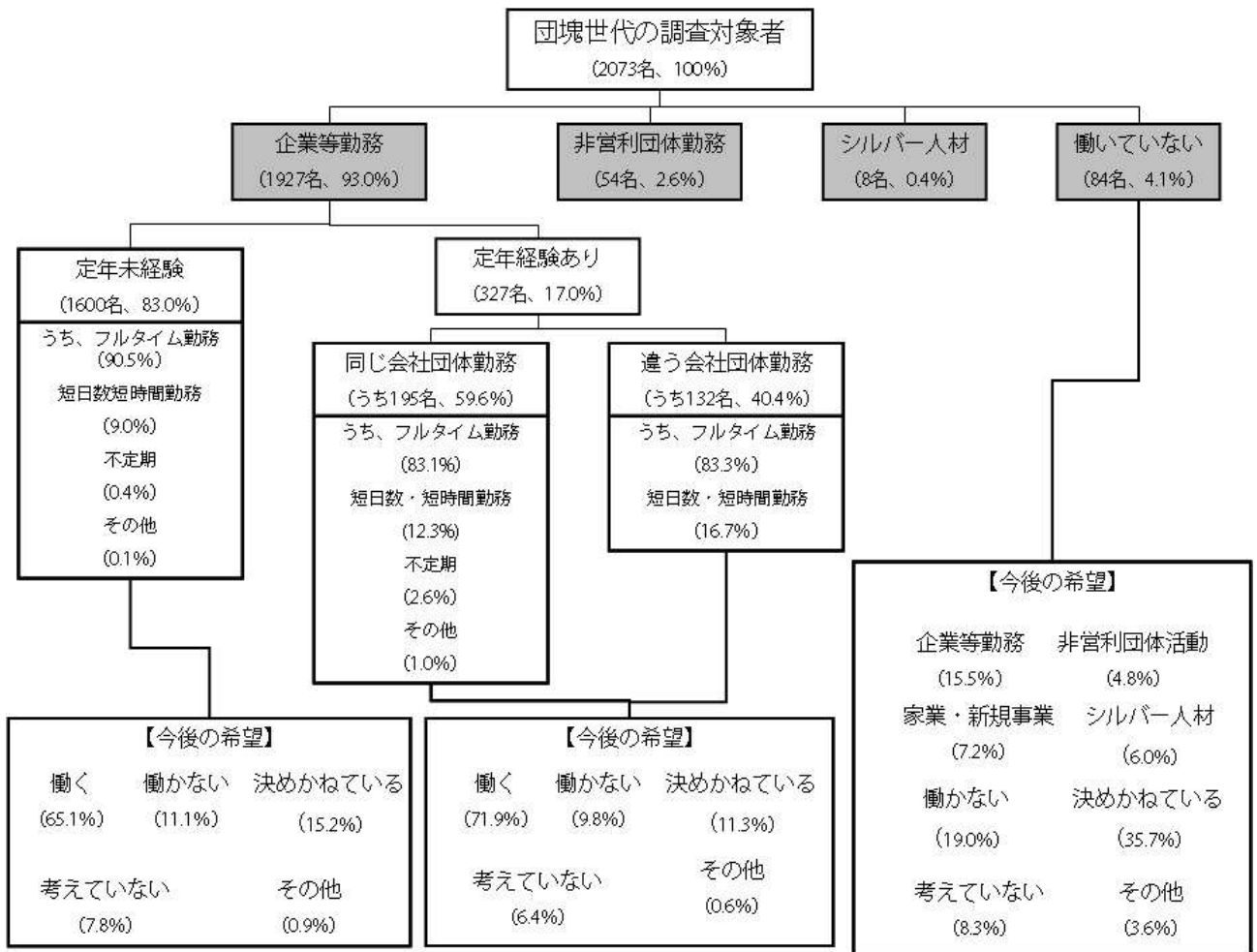
ここでは定年を迎えた経験のある人を「定年経験者」、定年を迎えていない人を「定年未経験者」と記載する。

【団塊世代のいま】

(1) 調査対象となった団塊世代のほぼすべてが働いている

今回調査対象となった団塊世代の 93.0%は「企業等」で勤務し、「非営利団体勤務」は 2.6%、「シルバー人材センターを通じた就労」が 0.4%を占める。いずれかの就業・就労形態で活動する団塊世代は 96%にも達する。一方で、現在「働いていない」人はわずか 4.1%を占めるにすぎない。

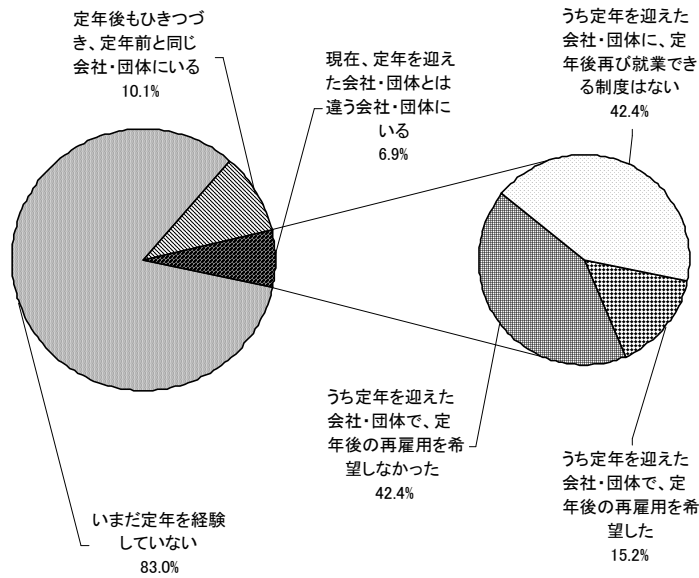
図表 1 団塊世代の就業状況（対象者 2073 名）



(2) 企業等勤務者の 8 割強が定年未経験者

現在企業等で勤務する団塊の世代のうち、83.0%が定年を経験していない。一方、定年経験者は 17.0%となっている。定年経験者のうち 59.6%が定年後も引き続き「同じ会社・団体」に所属し、40.4%が「定年前と違う会社・団体」に所属している。なお、「現在、定年をむかえた会社・団体とは違う会社・団体（6.9%）」にいる人の約 6 割が、定年を迎えた会社・団体で継続的に雇用されない状況にあった（そのうち定年をむかえた会社・団体で、「定年後の継続雇用を希望した人」は 15.2%、定年をむかえた会社・団体には、「定年後再び就業できる制度がなかった」とする人は 42.4%であった）。

図表2 定年経験と前職との関係（企業等勤務者 1927名）

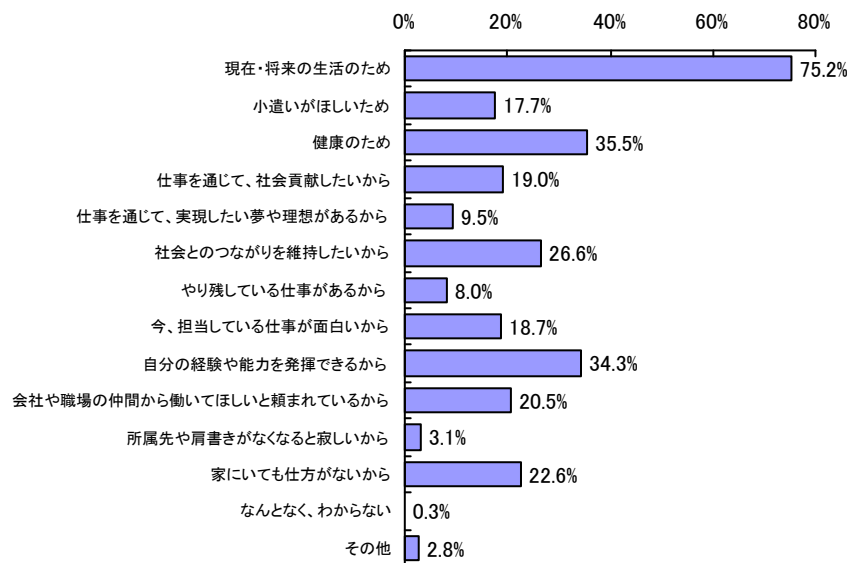


【企業等勤務者の現在《定年を経験している人たち》】

(1) 定年経験者の4人に3人が「現在・将来の生活のため」に勤務

現在、企業等で勤務する定年経験者のうち、75.2%が経済的な理由（「現在・将来の生活のため」）を挙げている。「健康のため（35.5%）」や「自分の経験や能力を發揮できるから（34.3%）」を挙げる人は定年未経験者と比べて増加するものの、それでも全体の約35%を占めるに過ぎない。定年を経験しても、「今、担当している仕事が面白いから（18.7%）」や「仕事を通じて、実現したい夢や理想があるから（9.5%）」、「仕事を通じて、社会貢献したいから（19.0%）」など仕事に積極的な意味を見出している人は比較的少ない。

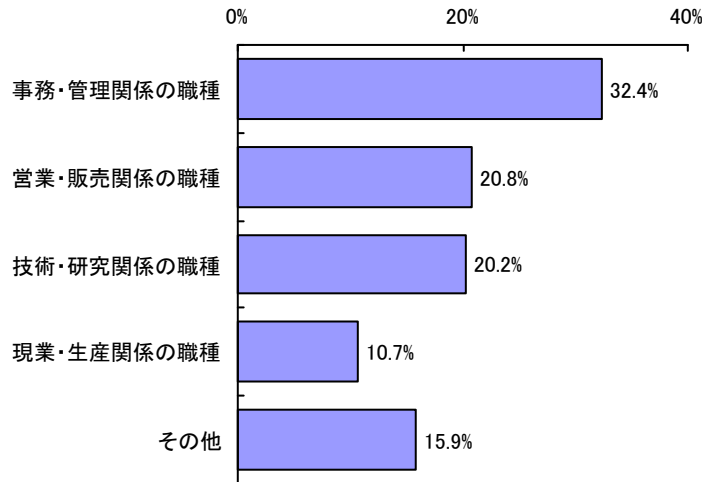
図表3 定年経験者の働く理由（企業等勤務者 327名、複数回答）



(2) 定年経験者の約7割が事務系職種で働く

現在企業等で勤務する定年経験者のうち、3人に1人が「事務・管理関係の職種（32.4%）」に就いている。次いで多いのが、「営業・販売関係（20.8%）」、「技術・研究関係の職種（20.2%）」であり、これらの職種が全体の73.4%を占める。一方、現業系の職種（「現業・生産関係の職種（10.7%）」）の勤務者は比較的少ない。

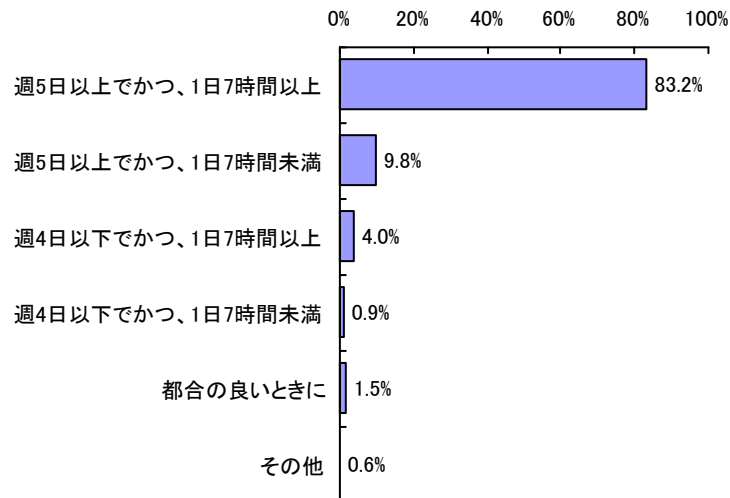
図表4 定年経験者の担当職種（企業等勤務者327名、単一回答）



(3) 定年経験者の8割強がフルタイム勤務

現在企業等で勤務する定年経験者の83.2%が、「週5日以上でかつ、1日7時間以上」のフルタイムで勤務している。一方、定年経験者の場合、「短時間・短日数勤務者」割合は増加するが、それでも「短時間・短日数勤務者」は16.2%を占めるにすぎない（定年未経験者で「短時間・短日数勤務者」は9.4%）。

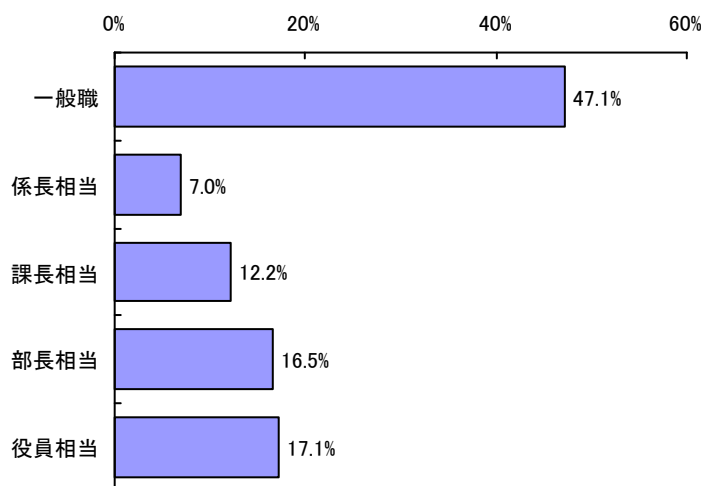
図表5 定年経験者の勤務時間（企業等勤務者327名、単一回答）



(4) 定年経験者の約5割が「一般職」

現在企業等で勤務する定年経験者の職位を見ると、最も多いのが「一般職」で47.1%を占める。次に多いのが「役員相当（17.1%）」、「部長相当（16.5%）」であり、部長職相当以上の高職位者が33.6%も占める。一方、「一般職」と「部長相当」の間にある「係長相当（7.0%）」や「課長相当（12.2%）」は、19.2%と少ない。また、定年未経験者（38.7%）と比べると、「一般職」が8.4ポイント高くなり、定年経験者の職位は低くなる傾向も見られる。

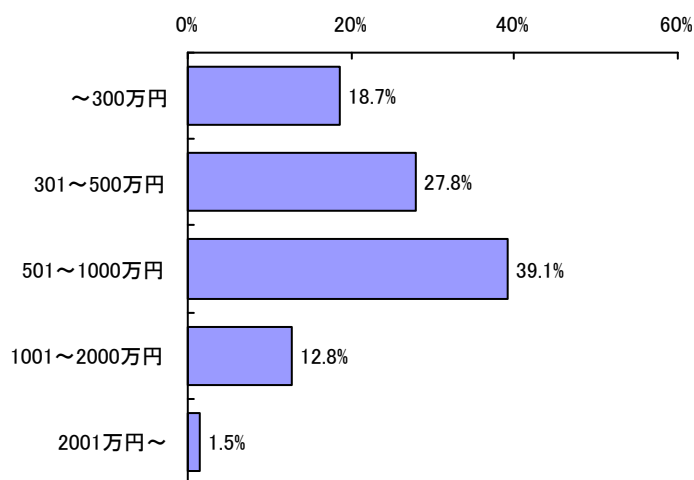
図表6 定年経験者の職位（企業等勤務者327名、単一回答）



(5) 定年経験者の約5割が年収500万円以下

現在企業等で勤務する定年経験者の年収は「501～1000万円」が39.1%を占める。一方で、「301～500万円」が27.8%、「300万円以下」が18.7%であり、年収501万円以上が53.4%を占める。定年経験者のほうは、定年未経験者（62.1%）と比べ、年収501万円以上の割合が8.7ポイント低く、定年を経験すると年収が低くなる傾向がある。

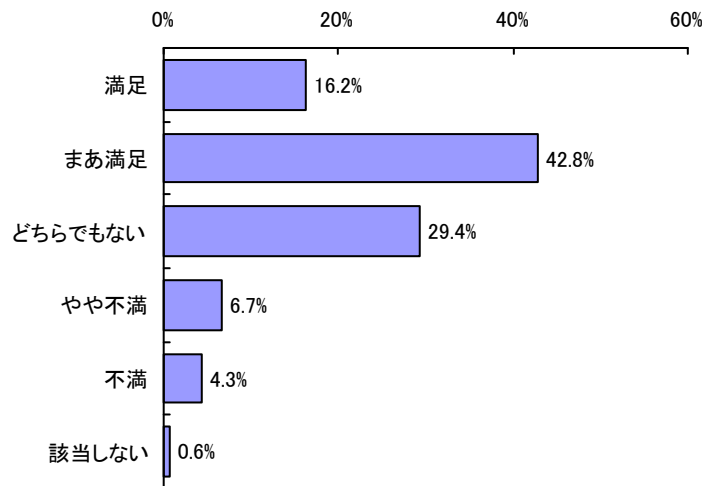
図表7 定年経験者の年収（企業等勤務者327名、単一回答）



(6) 定年経験者の約6割が仕事に満足

現在企業等で勤務する定年経験者の仕事への満足度は、「まあ満足」が42.8%、次いで「どちらでもない(29.4%)」、「満足(16.2%)」であり、仕事に満足している人は全体の59.0%を占める。また、不満に感じている人は「やや不満(6.7%)」、「不満(4.3%)」であり、定年経験者はおおむね仕事に満足している状況にある。

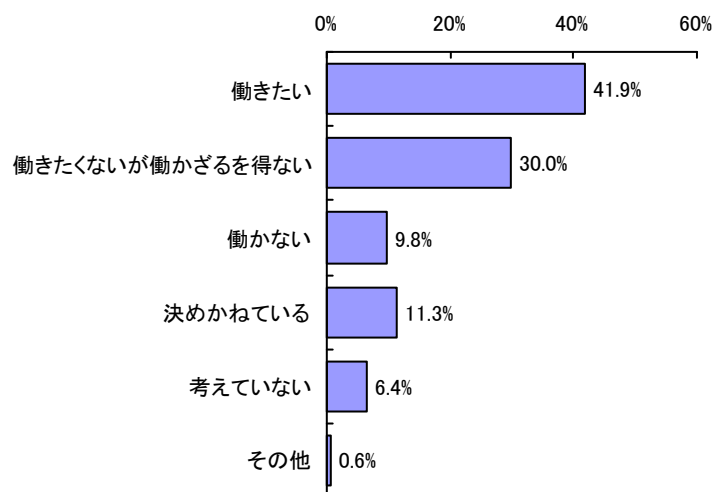
図表8 定年経験者の仕事への満足度(企業等勤務者327名、単一回答)



(7) 定年経験者の7割強が第二の定年後も働きたい

現在企業等で勤務する定年経験者の71.9%が、現在の仕事の雇用期間が満了した後も働くことを希望している(「働きたい(41.9%)」、「働きたくないが働かざるを得ない(30.0%)」)。次いで、「決めかねている(11.3%)」、「働かない(9.8%)」となっている。働くことを希望する人のうち、「働きたい(41.9%)」という積極的な希望が、「働きたくないが働かざるを得ない(30.0%)」という消極的な希望を上回っている。

図表9 定年経験者の今後の希望(企業等勤務者327名、単一回答)

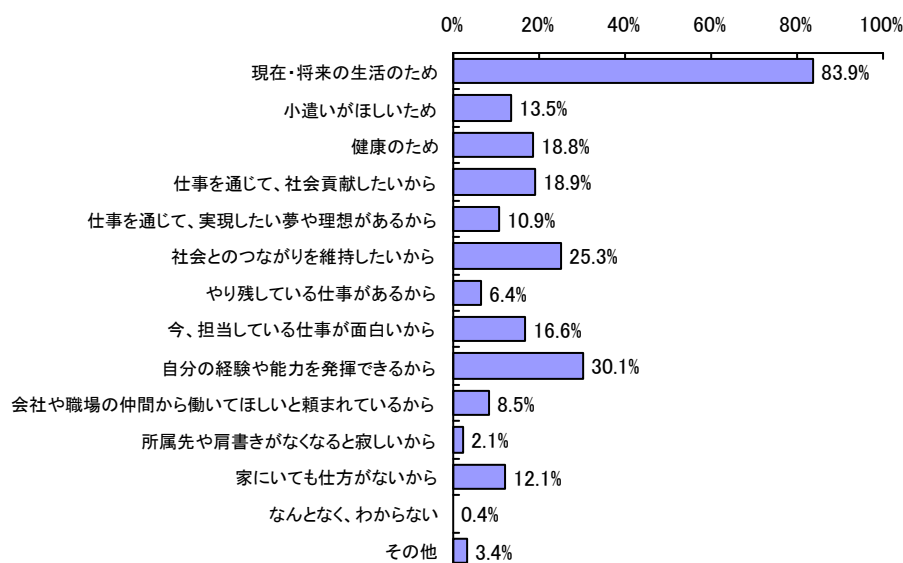


【企業等勤務者の現在《定年を経験していない人たち》】

(1) 定年を経験していない人の8割強が「現在・将来の生活のため」に働いている

現在働いている理由について、企業等で勤務する定年未経験者のうち、83.9%が経済的な理由（「現在・将来の生活のため」）を挙げている。次いで多いのが「自分の経験や能力を發揮できるから」の30.1%であり、経済的理由以外を挙げる定年未経験者は少ない。「今、担当している仕事が面白いから（16.6%）」や「仕事を通じて、実現したい夢や理想があるから（10.9%）」、「仕事を通じて、社会貢献したいから（18.9%）」など仕事に積極的な意味を見出している人は比較的少ない。

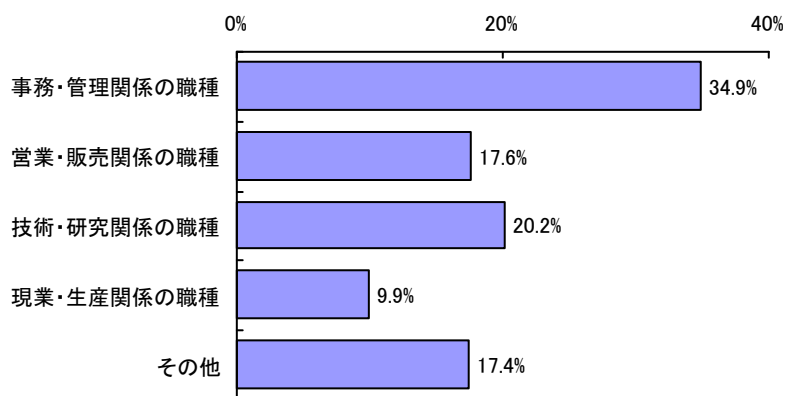
図表 10 定年未経験者の働く理由（企業等勤務者 1600 名、複数回答）



(2) 定年未経験者の7割強が事務系職種で働いている

現在、企業等で勤務している定年未経験者の職種は、「事務・管理関係（34.9%）」が多く、「技術・研究関係」が20.2%、「営業・販売関係」が17.6%となっており、これら事務系職種が72.7%を占める。一方で、現業系の職種（「現業・生産関係」）はわずか9.9%を占めるのみである。

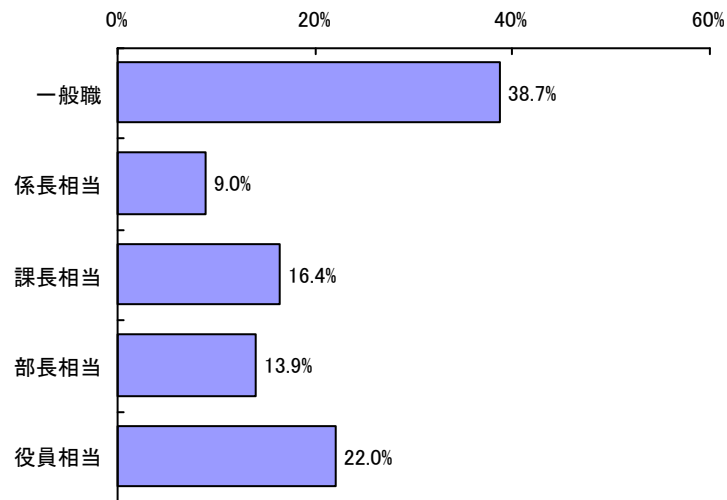
図表 11 定年未経験者の職種（企業等勤務者 1600 名、単一回答）



(3) 定年未経験者の約4割が「一般職」

現在、企業等で勤務している定年未経験者の職位は、「一般職（38.7%）」が多く、次いで「役員相当（22.0%）」、「課長相当（16.4%）」となっている。「一般職」の割合が高いが、高職位者（「部長相当（13.9%）」、「役員相当（22.0%）」）も35.9%を占め、その中間にいる「係長相当（9.0%）」や「課長相当（16.4%）」も25.4%となっている。

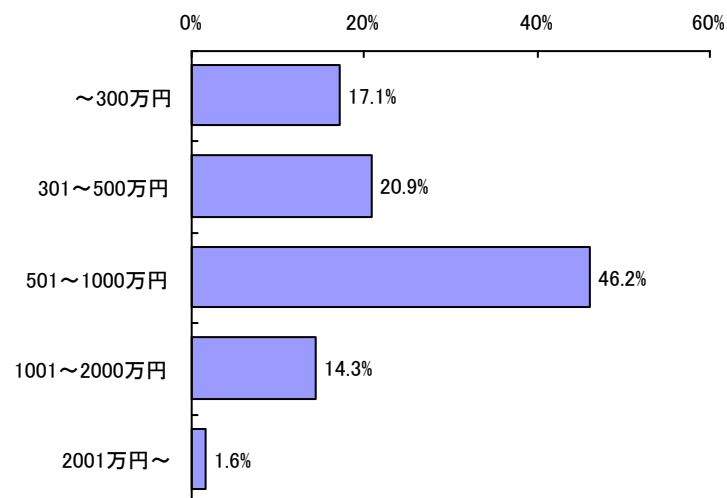
図表 12 定年未経験者の現在の職位（企業等勤務者 1600 名、単一回答）



(4) 定年未経験者の年収は「501～1000万円」が多数

現在、企業等で勤務している定年未経験者の年収は、「501～1000万円（46.2%）」が多く、次いで、「301～500万円」が20.9%、「300万円以下」が17.1%となっており、年収501万円以上の人が全体の62.1%を占めている。

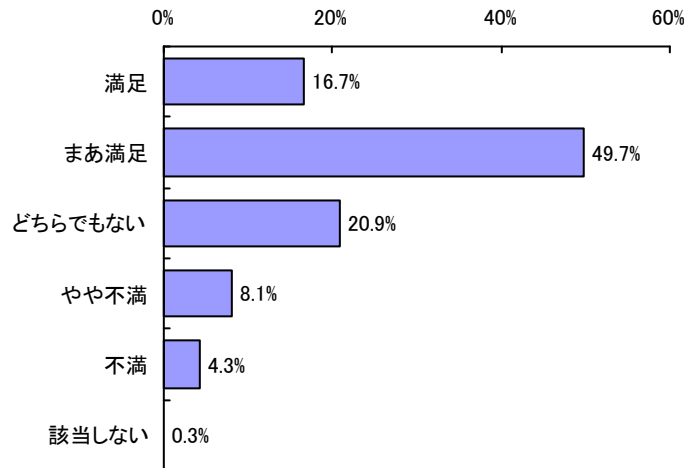
図表 13 定年未経験者の年収（企業等勤務者 1600 名、単一回答）



(5) 定年未経験者の約7割が仕事に満足

現在、企業等で勤務している定年未経験者の仕事への満足度は、「まあ満足」が49.7%、次いで「どちらでもない（20.9%）」、「満足（16.7%）」となっており、仕事に満足している人は66.4%を占める。また、不満に感じている人（「やや不満（8.1%）」、「不満（4.3%）」）は12.4%であり、定年未経験者はおおむね仕事に満足していることがわかる。

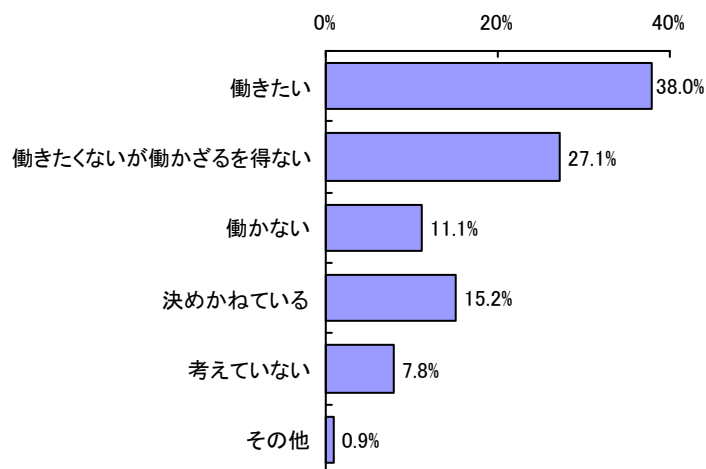
図表 14 定年未経験者の仕事への満足度（企業等勤務者 1600 名、単一回答）



(6) 定年未経験者の約7割が定年後も働きたい

現在、企業等で勤務している定年未経験者は、定年後も65.1%が働くことを希望している（「働きたい（38.0%）」、「働きたくないが働かざるを得ない（27.1%）」）。次いで、「決めかねている（15.2%）」、「働かない（11.1%）」となっている。働くことを希望する人のうち、「働きたい（38.0%）」という積極的理由が、「働きたくないが働かざるを得ない（27.1%）」という消極的理由を上回っている。

図表 15 定年未経験者の定年後の希望（企業等勤務者 1600 名、単一回答）

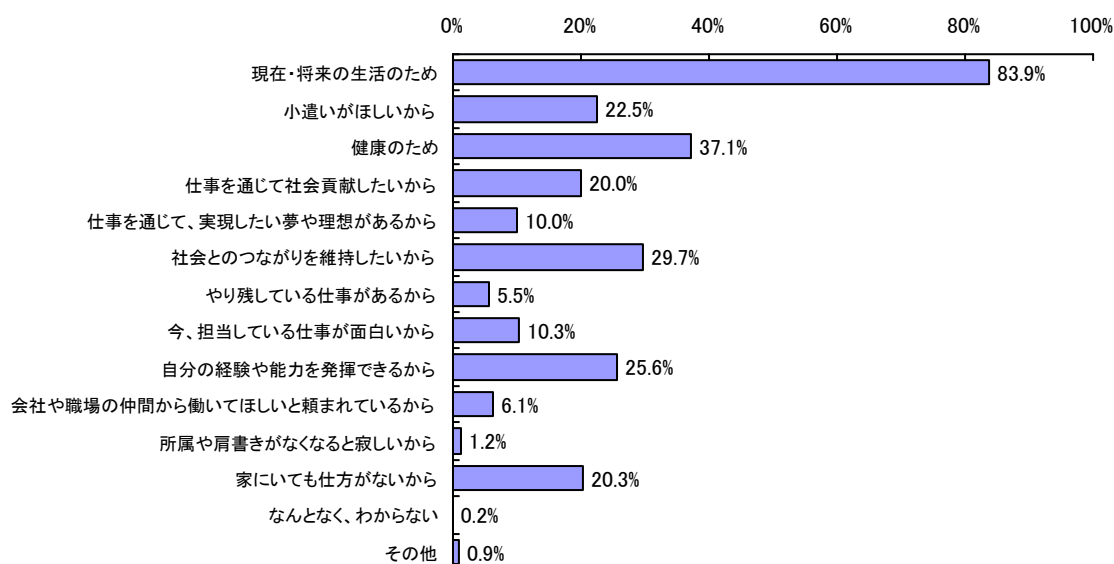


① 定年後働くことを希望する人たち

a. 就業希望者の8割強が「現在・将来の生活のため」

これから定年を迎える人で定年後も働くことを希望する人の働きたいとする理由は、「現在・将来の生活のため」が83.9%にも達する。次いで多いのが「健康のため(37.1%)」、「社会とのつながりを維持したいから(29.7%)」となっている。「仕事を通じて、実現したい夢や理想があるから」や「今担当している仕事が面白いから」など、積極的な理由から仕事に就くことを希望する定年未経験者は10%程度とわずかである（「働きたいが働かざるを得ない」を除き「働きたい」人だけを取り上げて見ても、「仕事を通じて、実現したい夢や理想があるから」が14.9%、「今担当している仕事が面白いから」が15.7%である）。

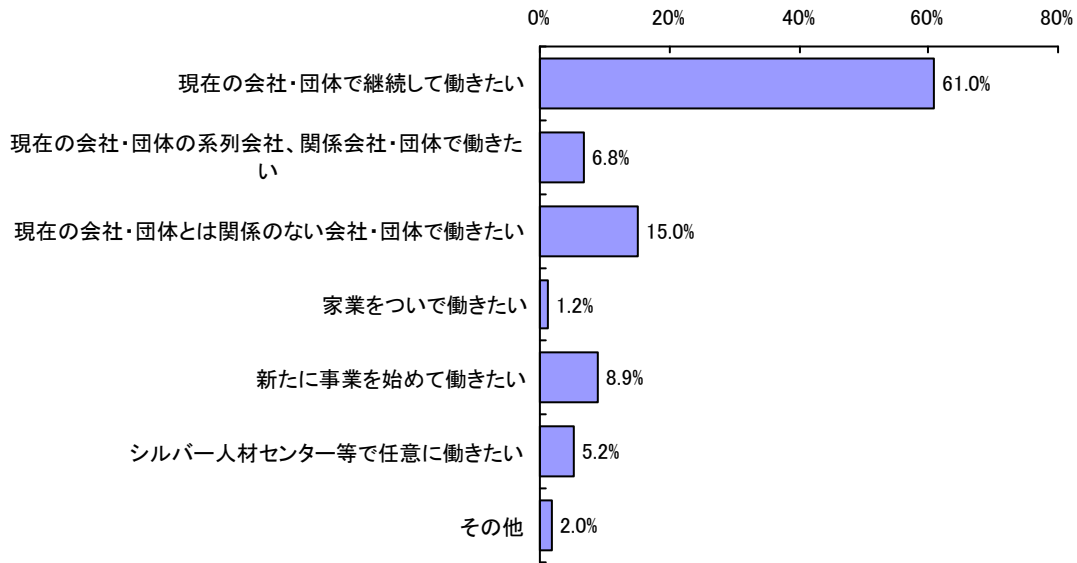
図表 16 今後の働く理由（企業等勤務者 1025 名、複数回答）



b. 就業希望者の6割強が「現在の会社・団体に継続して働きたい」

定年未経験者でかつ定年後も働くことを希望する人のうち、61.0%が同じ会社での継続勤務を希望している。現在の企業とは関係のない会社・団体に働くことを希望する人を含めると、雇用者としての就業希望者は83%に達する。一方で、自ら事業を行うことを考えている人（「家業をついで働きたい(1.2%)」、「新たに事業を始めて働きたい(8.9%)」）は10.1%とわずかであり、シルバー人材センター等で任意で働きたい人も5.2%と少ない。

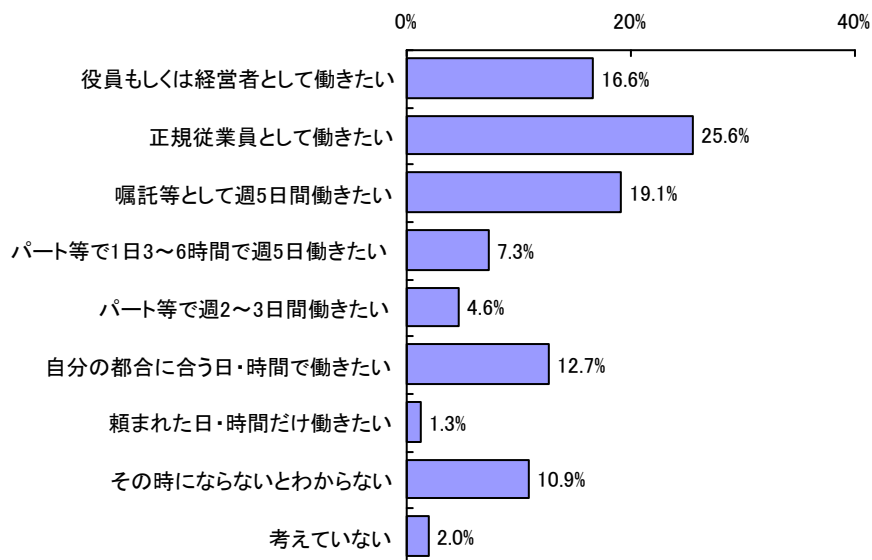
図表 17 希望する勤務先（企業等勤務者 1025 名、単一回答）



c. 就業希望者の約 5 人に 1 人が短日数勤務を希望

定年後も働くことを希望する人のうち、4 人に 1 人が「正規従業員として働く」ことを希望している。企業等で経営者や正社員といった中核的な人材としての勤務希望者は 42.2% を占め、嘱託やパートなど非正規社員として働くことを希望する人は 45.0% となっている。一方、勤務日数については、約 7 割が週 5 日以上勤務を希望している。また、短日数の勤務を希望する人は、18.6% と少ない。

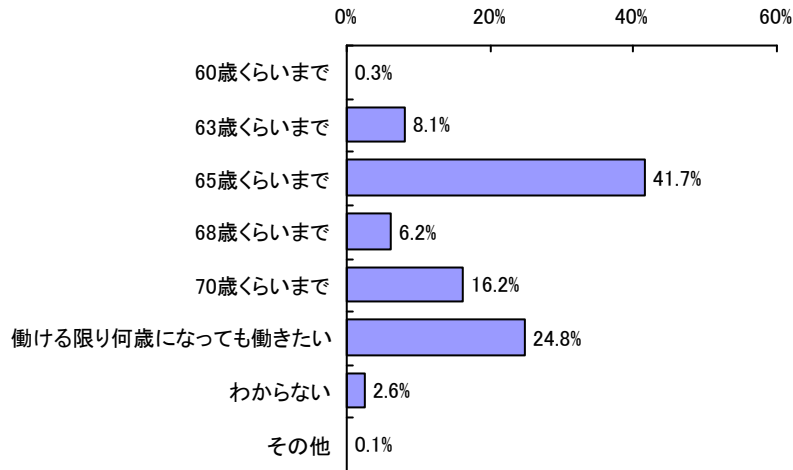
図表 18 希望する就業形態（企業等勤務者 1025 名、単一回答）



d. 就業希望者の4割強が「70歳くらいまで」「働ける限り何歳になっても」働きたい

定年後も働くことを希望する人のうち、「65歳くらいまで」働くことを希望している人が最も多く41.7%となっている。一方で、「働ける限り何歳でも働きたい(24.8%)」、「70歳くらいまで(16.2%)」を合わせると41.0%にも達する。また、「60歳くらいまで」とする人は0.3%にすぎない。

図表 19 希望する勤務年数（企業等勤務者 1025 名、単一回答）

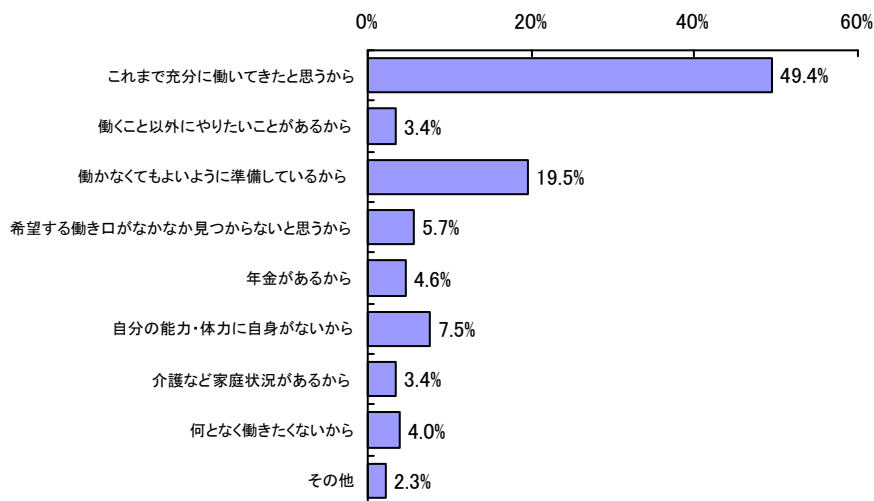


② 定年後働かないことを希望する人たち

a. 引退希望者の約5割が「これまで十分に働いてきたと思うから」

定年後に働くことを希望しない理由は、「これまで十分に働いてきたと思うから(49.4%)」が多く、次いで「働かなくてもよいように準備しているから(19.5%)」、「自分の能力・体力に自信がないから(7.5%)」となっている。「働くこと以外にやりたいことがあるから」という積極的な理由による引退希望者は、わずか3.4%である。

図表 20 定年後働かない理由（企業等勤務者 174 名、単一回答）

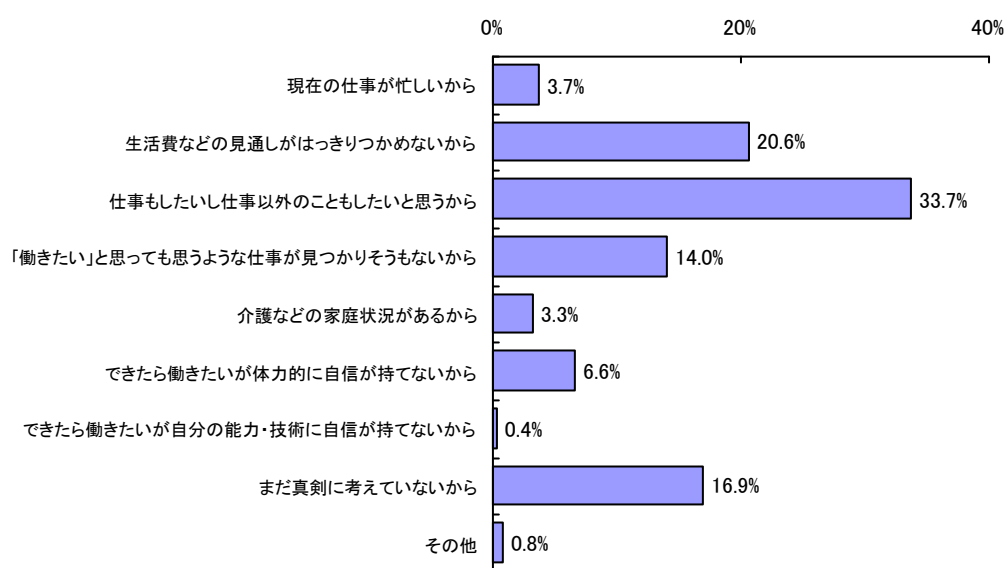


③ 定年後働くか働かないか決めかねている人たち

a. 決めかねている人の3人に1人は「仕事もしたいし仕事以外のこともしたいと思うから」

定年後働くか否か決めかねている理由は、「仕事もしたいし仕事以外のこともしたいと思うから」が多く、活動するがその内容に悩むという積極的な理由から迷っている人は33.7%を占める。次いで「生活費などの見通しがはっきりつかめないから（20.6%）」、「まだ真剣に考えていないから（16.9%）」となっている。一方、「働きたい」と思っても思うような仕事が見つかりそうもないから（14.0%）」や「できたら働きたいが体力的に自信が持てないから（6.6%）」、「できたら働きたいが自分の能力・技術に自信が持てないから（0.4%）」など消極的な理由から決めかねている人は21.0%となっている。

図表 21 定年後決めかねている理由（企業等勤務者 243 名、単一回答）

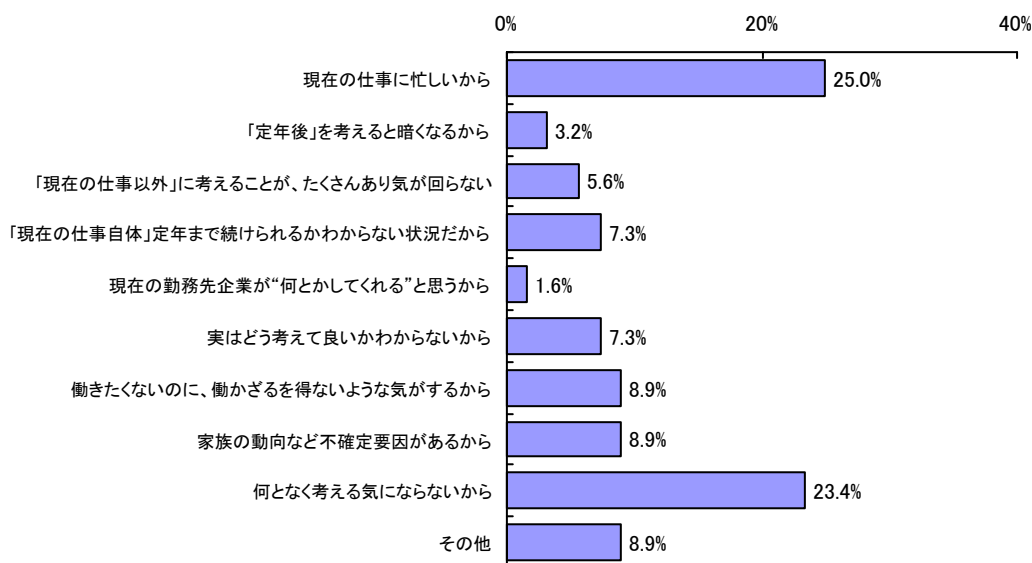


④ 定年後働くか働かないか考えていない人たち

a. 考えていない人の4人に1人は「現在の仕事に忙しいから」

定年後働くか否か等について考えていない理由として、「現在の仕事に忙しいから（25.0%）」、「何となく考える気にならないから（23.4%）」が多い。「現在の仕事に忙しいから（25.0%）」や「現在の仕事以外に考えることがたくさんあり気が回らないから（5.6%）」など考えるゆとりがないために、定年後のことを考えていない人が3割強を占める。一方で、「実はどう考えてよいかわからない」とする人はわずか7.3%である。

図表 22 定年後考えていない理由（企業等勤務者 124 名、単一回答）

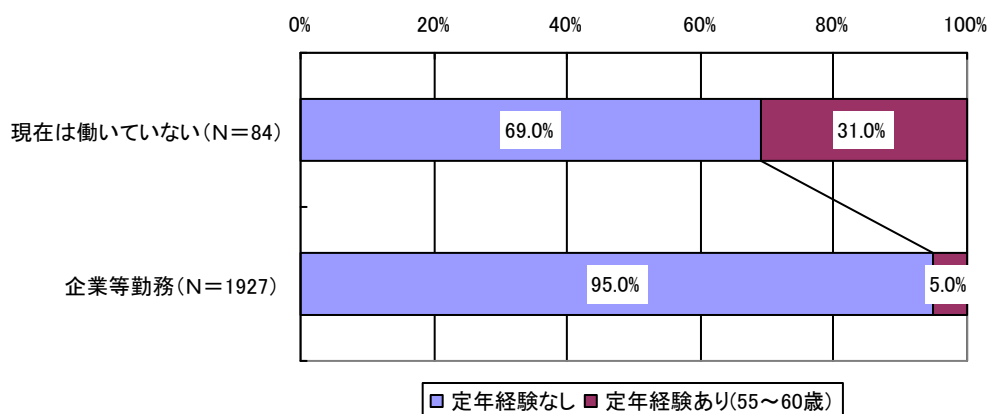


【現在働いていない人たちの状況】

(1) 引退者の約 7 割が定年未経験者

現在働いていない人のうち、60 歳までに定年を経験していない人は 69.0%、定年経験者¹は 31.0%で、定年を経験していない人が引退者の多くを占める。しかし、企業等に勤務する人と比べると、引退者のほうが定年経験者は多く、定年が引退を促す契機となっていることがわかる（企業等に勤務する人のうち、55 歳から 60 歳までの定年経験者は 5.0%）。

図表 23 引退者の定年経験

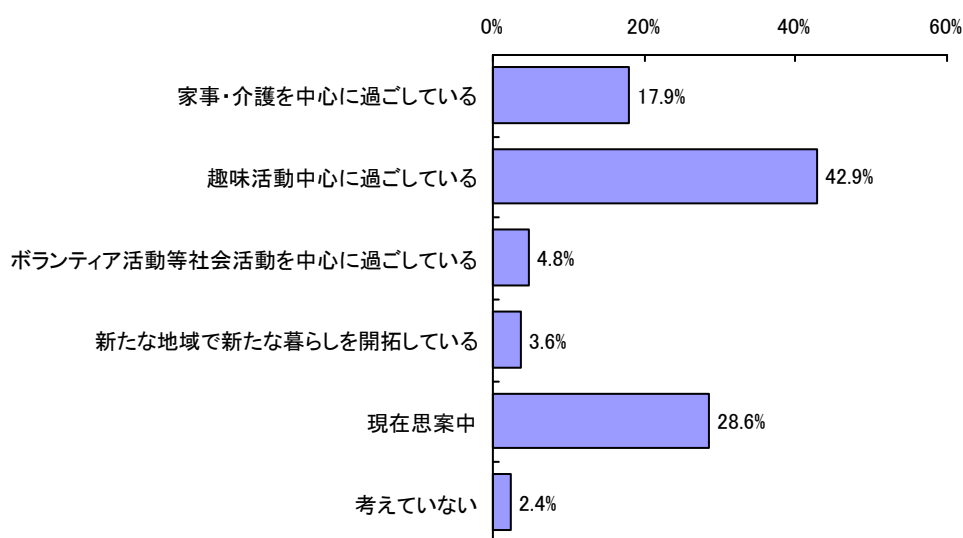


¹ これは選択定年制の適用等が考えられる。

(2) 引退者の4割強が「趣味活動中心に過ごしている」

現在働いていない人の42.9%が「趣味活動中心に過ごしている」。また、「現在の過ごし方について思案中」であるという人は28.6%となっている。なお、社会貢献活動に参加している引退者はわずか4.8%である。

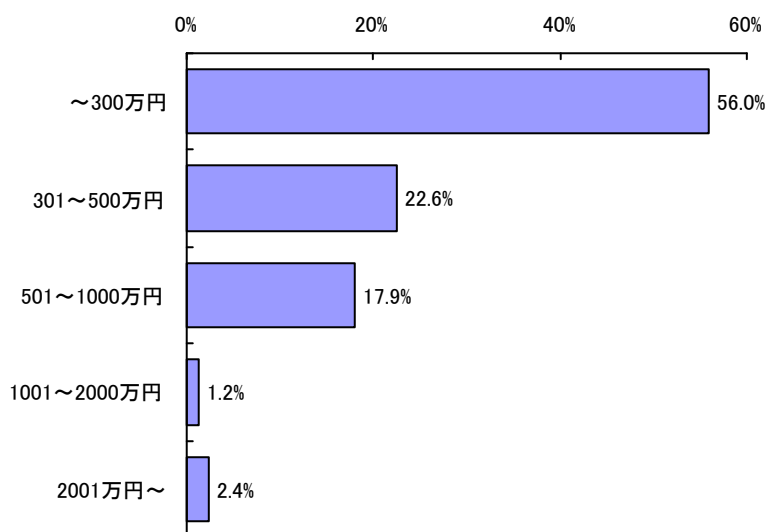
図表 24 引退者の活動状況（引退者 84 名、単一回答）



(3) 引退者の約8割が年収500万円以下

引退者の56.0%が「年収300万円以下」であり、「301～500万円」も22.6%となっており、年収500万円以下の人が78.6%を占めている。なお、年収1001万円以上の人でも3.6%となっている（「1001～2000万円（1.2%）」、「2001万円以上（2.4%）」）。

図表 25 現在の年間収入（引退者 84 名、単一回答）



(4) 引退者の約4割がこれからどうするか「決めかねている」

引退者の約35.7%が、今後どうするか「決めかねている」。また、引退者のうち3人に1人が「企業などで働く（14.3%）」といった、就業や就労を希望している（「公的機関で働く（1.2%）」、「NPO法人やボランティア団体など非営利団体で活動する（4.8%）」、「シルバー人材センターを通じ働く（6.0%）」、「家業を継いで働きたい（1.2%）」、「新たに事業を始めたい（6.0%）」）。一方で、「やっぱり働かない」人は19.0%を占めるにすぎない。

図表 26 今後の希望（引退者 84 名、単一回答）

